

教員長期社会体験研修 7～9月期 研修報告

研修先：株式会社アドバコム エコチル編集部／札幌

研修者：札幌市立中央中学校 野呂 綱衛

【エコチルまつりバーチャル 2021】

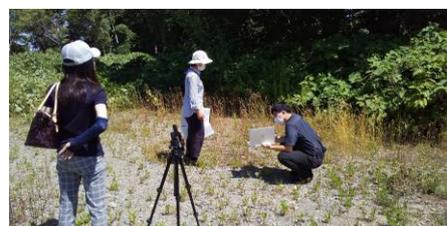
8月7日（土）～20日（金）、「夏休み！SDGsな自由研究を応援！」というテーマで無料オンラインイベントを開催した。

様々な企業・団体に協賛を打診したり、ライブステージの全体進行を任されたこともあり、多くの職種の方々とお話をする機会が得られた。エコチルまつりをオンラインで開催するのは株式会社アドバコムにとって初めての試みだった。準備段階では試行錯誤することもあり、膨大な時間を費やしたが、月に1回配信しているYouTube「エコチルライブ」で培ったノウハウを生かすことができたと思う。

また、このオンラインイベントの一環で札幌市博物館活動センターと共に「世界を巡る植物」をテーマにワークショップを行った。私はサポートの立場で関わらせていただいた。全国各地の子ども達と会議用アプリを通して繋がり、生配信でワークショップを進行した。子ども達からも活発に質問があり、リアルタイムで行うオンラインイベントならではの良さがあるワークショップだった。一方、突発事態にどのように対応するかなどは、入念な想定、リハーサルや打合せが必要であると感じたが、実績を積みこいでクリアできると思う。



エコチルまつりバーチャル 2021



ワークショップリハーサルの様子

【札幌市立中央中学校・吹奏楽部ドキュメンタリー動画制作】

上記「エコチルまつりバーチャル 2021」ライブステージプログラムの1つとして、札幌市立中央中学校吹奏楽部協力の下、コンクール発表に向けた1か月半の活動を追う30分程度のドキュメンタリー動画を制作した。この動画を作成したのは、「世間が厳しい状況の中、日々頑張っている子どもや教職員の方々の姿をリアルに伝えたい」と考えたからである。また、保護者をはじめとして、いつも支えていただいている方々への感謝の思いも込めた。これは、特定の学校などに向けたものではなく、全国に伝えたい気持ちである。

取材、撮影、編集を自分で行ったが、自由に取り組ませていただいたことに感謝している。自分は教員であるが、学校で勤務していると同僚がどんなことをしているのか、それぞれの部活動がどんなことを頑張っているのかを把握できていたかと言われると、自信はない。今回はじっくり取材ができたので、「点」でしか見ることができていなかったものが、「線」として捉えることができ、教員としても、新しい視点を獲得できたと思う。



ドキュメンタリー動画紹介画像

【SDGs100人カイギ登壇】

SDGs100人カイギというオンラインイベントに登壇させていただいた。SDGs100人カイギは、毎月4名ほど登壇するワークショップで、参加者はビジネスパーソンから学生まで幅広い。100人の登壇が実現したら、イベントは終了する予定だということだ。私は、教員と株式会社アドバコムの方の立場からお話しさせていただいた。異業種の方のお話を直接聞いたり、話し合う時間もあり、大変有意義なものとなった。



100人カイギの内容を図解したもの

【寺久保エレナさん御出演】

月1回、YouTube 配信番組「エコチルライブ」を札幌市内のスタジオより生配信している。このエコチルライブの中に「パフォーマンスコーナー」がある。これまでに、札幌市観光大使を務めるアイドルグループ EverZOne やミュージシャン、マジシャンの方々などに御出演いただいている。7月配信版では、札幌市出身の JAZZ サックス奏者、寺久保エレナさんに御出演いただいた。寺久保さんはニューヨーク在住なので、マネージャーさんにメールで連絡し、出演交渉を行った。寺久保さんご本人に、エコチルの取組や思いを伝えた結果、無償で御出演していただけることになった。出演に際しては、日本の子ども達への温かいメッセージと共に、ソロサックスで演奏した2曲をお送りいただいた。世界で活躍する方にも御協力いただけるとは研修が始まる前は夢にも思っていなかった。本当に多くの方の支えで何事も成り立っていることを実感した。



寺久保エレナさん

photo: Shigeru Uchiyama

【エコチル全国展開】

エコチルは全国にエコやSDGsの輪を広げようと、全国への展開を進めている。紙媒体では、9月号より長野県の一部地域で配布が決定した。また、電子版のみではあるが、全都道府県のエコチルをご当地記事を交えて制作できるよう、編集部では少しずつ準備を進めている。具体的には、各都道府県の動物園、水族館や小学校に取材依頼を行っている。私は全国の教育委員会や小学校に協力要請をしている。協力していただける教育委員会や小学校もあるが、毎月違う学校を取材する形式なので、持続させることに苦慮することも多い。コツコツとした積み重ねが大切である。

【3か月間のまとめ】

この3か月は紙面編集のみではなく、YouTube 配信番組のブラッシュアップ、動画編集やワークショップのサポートなどにも携わり、研修内容の幅に広がりがあった。また、ささやかではあるが教育に還元できるような成果を上げることができたと思う。引き続き、日々の研修に励みたい。